

令和5年度教育研究活動報告書

氏名	宮谷 聡美	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	教授
専門分野	日本中古文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	中古文学専門演習a、日本文学史2（中古）、卒業論文（構想・準備）、日本文学概論、日本文学特殊講義、フィールドワーク（共同）、中古文学専門演習b、日本文学購読2（中古）、卒業論文（制作）
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）「歌物語」とその展開について	
（2）平安時代の仮名文学と漢文学とのかかわりについて	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R5・R4・R3	
R5	〈論文〉「『はいずみ』と歌物語」単著、令和5年6月、早稲田大学国文学会『国文学研究』198集、25-38頁、査読（招待）有 〈論文〉「『伊勢物語』の再会譚一六十段「五月待つ」と六十二段「我にあふみ」一」単著、令和6年3月、日本文学協会、73巻3号、42-50頁、査読（招待）有 〈書評〉「荒井洋樹著『紀貫之と和歌世界』」単著、令和6年3月、平安朝文学研究会『平安朝文学研究』復刊32号、37-40頁、査読（招待）有 〈報告〉「令和五年度日本文学科「フィールドワーク」成果報告」共著、令和6年2月、尾道市立大学芸術文化学部日本文学科『尾道文学談話会会報』14号、67-146頁、査読無
R4	〈論文〉「『うつほ物語』『若小君物語』の和歌と物語—「歌物語」論のために—」単著、令和4年12月、尾道市立大学日本文学会、『尾道市立大学日本文学論叢』18号、1-12頁、査読無
R3	〈学会発表〉「『うつほ物語』『若小君物語』の歌と物語」単独、令和3年12月、尾道市立大学日本文学会大会 〈著書〉『歌物語史から見た伊勢物語』単著、令和4年3月、新典社、368頁
R2以前の主な研究業績	
（1）	〈著書〉『学びを深めるヒントシリーズ 枕草子』共著（早稲田久喜の会）、令和2年9月、明治書院、66-73頁、168-183頁
（2）	〈著書〉『学びを深めるヒントシリーズ 伊勢物語』共著（早稲田久喜の会）、平成30年3月、明治書院、2-4、8-10、46-55、76-77、214-223頁
（3）	〈著書〉『古今和歌集巻二十一注釈と論考一』共著（久喜の会）、平成23年5月、新典社、注釈編93-106頁、172-184頁、論考編327-347頁（論考は上記単著に収録）
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R3・R4・R5	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
中古文学会（委員、令和5年6月～現在）、和歌文学会、早稲田大学国文学会、平安朝文学研究会（委員、平成14年4月～現在）、尾道市立大学日本文学会（編集委員、令和3年4月～現在）	